令和4年度後期（秋学期・冬学期） 成績評価方法【教育学部】

R5.1.16

	科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 （※詳細についてはシラバスを確認すること）
1	教育学・教育心理学概説Ⅱ	金3	田北・野村	期末レポート、出席
2	比較教育学概論Ⅱ演習	月2	竹熊 尚夫	・発表とゼミへの参加度を基に評価する。 ・授業への貢献度を重視する。
3	社会心理学講義Ⅰ（社会・集団・家族心理学）	月2	池田 浩	・講義内容全体について期末試験を課します（50%） ・課題の内容に応じた「小レポート」（20%） ・授業への出席確認を兼ねた「フィードバックシート」への記入を求めます。（30%）
4	心理学講義Ⅰ（知覚・認知心理学）	月2	（文） 光藤 宏行	・レポートにより評価 提出先：Moodle 提出締切：2月9日（木）15時まで
5	アクセシビリティ心理学講義Ⅱ（福祉心理学）	月2	田中 真理	・毎回のミニレポート、最終レポート ・発表者へのコメント ・毎回の出席を評価の対象とする
6	教育課程・カリキュラム論	月3	田上 哲	・小テスト、レポート（◎） ・授業への貢献度、出席（○）
7	教育学説論	月3	鈴木 篤	・最終レポート（20点） ・発表原稿の出来具合、発表の準備状況、発表での他者とのやりとりなどについて、授業担当者（教員）と本人、他の受講生からの評価を合算して主たる評価とします（80点）。 ・出席回数が全体の3分の2に満たない者には、単位を認めません。
8	臨床心理学講義Ⅲ	月3	佐々木 玲仁	学期末レポートでのみ成績を評価する。
9	（秋学期） Democracy and Education Ⅰ	月4・5	陳 思聡	・レポート（50%） ・発表（20%） ・授業への貢献度（30%）
10	（冬学期） Education and politics Ⅰ	月4・5	陳 思聡	・レポート（50%） ・発表（20%） ・授業への貢献度（30%）
11	グループ・アプローチ論演習（心理学的支援法）	月5	金子 周平	・演習の最後に提示するレポート課題を中心に評価を行う ・積極的なコミットメントを評価 ・4回以上の欠席でレポート提出の資格なしとする。
12	臨床心理学特論演習（心理演習）	月5	小澤 永治	・授業中に課すレポート、学期末の最終レポート ・演習活動への積極的な参加を重視 ・授業への出席を重視
13	教育環境学研究法	火2	木下 寛子	・毎回の授業で課すミニ実習のレポート、最終レポート ・実習、および文献講読に関する発表 ・ディスカッションへの参加、およびコメントシート ・出席
14	教育史概論	火2	江口 潔	・授業時の小レポート、最終課題レポート ・授業時の発言 ・原則として12日以上の出席が単位取得のための前提条件
15	マスコミュニケーションⅡ	火2	原岡 薫	レポート提出および論述式筆記試験の結果に出席状況を加味し、成績評価を行う。

令和4年度後期（秋学期・冬学期） 成績評価方法【教育学部】

R5.1.16

	科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 （※詳細についてはシラバスを確認すること）
16	教授過程心理学演習	火2	伊藤 崇達	・最終レポート ・プレゼンテーション ・授業への貢献度 ・出席
17	リーダーシップ論演習（産業・組織心理学）	火2	池田 浩	・最終レポート（50%） ・プレゼンテーション（30%） ・毎回の授業に関わる「リフレクションシート」の提出（20%）
18	心理学講義Ⅱ（知覚・認知心理学）	火2	（文） 山本 健太郎	・レポートにより評価（題目は授業中に指示） 提出先：Moodle 提出締切：2月21日（火）15時まで
19	教育文化史演習	火3	野々村 淑子	・担当箇所の発表とレジュメを考慮する ・授業への貢献度、出席を考慮する
20	教育学説論演習	火3	鈴木 篤	・授業に関する準備状況や授業内での他者とのやりとりなどについて、授業担当者（教員）と本人、他の受講生からの評価を合算して主たる評価とします（100点）。 ・・出席回数が全体の3分の2に満たない者には、単位を認めません。
21	乳幼児心理学演習（学習・言語心理学）	火3	橋彌 和秀	レポートにより評価 締切等については講義中に指示
22	発達相談学講義Ⅲ（障害者・障害児心理学）	火3	遠矢 浩一	・Moodleにて提示する期末試験を実施する。 ・不定期に小課題を課すことがある。 ・Moodleでの出席
23	教育実践学Ⅱ演習	火4	元兼 正浩	・期末レポート ・授業へのコミットメント度合い
24	心理学統計法	火4	中村 知靖	・レポートにより評価（題目は授業中に指示） 提出先：Moodle 提出締切：2月9日（木）15時まで
25	教育環境人間論	火5	木下 寛子	・小レポート ・最終の課題として小論文を課す。 ・授業への参加 ・Moodleでの疑問、コメントの提出
26	高等教育論演習	火5	小湊 卓夫	・毎回の授業で、役割分担に従って、文献要約の発表をしてもらいます。 ・授業への参加度（ディスカッションへの貢献）60%、文献要約40%
27	医療心理学演習（健康・医療心理学）	火5	黒木 俊秀	成績評価において、講義の終盤に課題を課す。詳細はMoodleを参照すること。
28	心理学研究法	水1・2	加藤 和生	受講したすべての教員が課すレポートを提出すること ①全ての授業に出席すること（遅刻しないこと、場合によれば減点する） ②全てのレポート提出すること ③実験2発表会への出席し、次のテーマでA4でそれぞれ1枚のレポートを提出すること テーマ1：「この授業全体を通して、学んだこと考えたこと」 テーマ2：「実験2の発表会に参加して、学んだこと、考えたこと」
29	心理学実験	水2・3	實藤 和佳子	・発表会での発表 ・平素の成績
30	（秋学期） 教育社会学概論Ⅱ	水3・4	米澤 彰純	・レポート（40%） ・発表（30%） ・授業への貢献度（30%）

令和4年度後期（秋学期・冬学期） 成績評価方法【教育学部】

R5.1.16

	科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 （※詳細についてはシラバスを確認すること）
31	教育学フィールド研究演習Ⅱ	水5	田上　哲	活動報告と最終レポート、活動報告、授業への貢献度、出席
32	障害児童学演習（障害者・障害児心理学）	木1	小澤　永治	・もくもくグループへの参加態度によって成績評価を行います。 ・セラピーセッション、カンファレンスへの理由ない欠席は減点の対象とします。
33	生涯学習概論	木2	岡　幸江	・毎回のミニレポート ・最終レポート（◎） ・出席
34	教育法学	木3	元兼　正浩	筆記試験（50%）＋毎回のミニレポートを集成したポートフォリオ（50%）によります。
35	社会教育史演習	木3	岡　幸江	・最終レポート ・発表 ・出席
36	認知発達学演習（発達心理学）	木3	加藤　和生	・最後の小レポート ・担当論文の発表とレジュメ ・議論への参入度・貢献度
37	生涯発達学講義Ⅱ（健康・医療心理学）	木3	古賀　聡	・毎回の小レポート、期末レポート
38	国際教育論Ⅱ演習	木4	花井　渉	・毎回の小レポート（20%） ・最終レポート（50%） ・授業への貢献度（30%）
39	発達心理学Ⅲ演習（学習・言語心理学）	木4	實藤　和佳子	・最終レポート ・担当回での発表 ・授業中の議論への参加
40	対人行動・認知学演習（社会・集団・家族心理学）	木4	山口　裕幸	・小レポート（30%） ・研究デザインの発表（40%） ・出席回数（30%）
41	コミュニケーション障害学演習（福祉心理学）	木5	野村　れいか	・毎回の講義終了後にその日の演習内容に関する質問、感想を記入し提出。提出をもって出席とする（60%） ・グループでテーマについて調べ、発表してもらう。資料作成、プレゼンテーション、質疑応答（40%）
42	教育とコミュニケーションデザイン	金2	田北　雅裕	出席（10%）、授業への貢献度（10%）、ミニッツペーパー（20%）、レポート2回（60%）の割合で成績評価します ・全体の1/3以上欠席した場合は、レポートの提出問わず、未履修となります。
43	心理学講義 VI（神経・生理心理学）	金2	（文） 麦島　剛	・筆記試験 　実施日：2月10日（金）2限
44	教育環境行動学演習	金3	木下　寛子	・最終的にグループでひとつの研究報告を提出する（80%） ・観察やインタビューをもとにした記録・記述、報告が必要。積極的なコミットメントを期待（10%） ・基本的にグループでの取り組みとなるため出席は必ずするようにしてください（10%）
45	教育調査法Ⅱ演習	金3	立脇　洋介	報告書（50%）、発表（20%）、グループワークへの貢献度（30%）をもとに評価する。

令和4年度後期（秋学期・冬学期） 成績評価方法【教育学部】

R5.1.16

	科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 （※詳細についてはシラバスを確認すること）
46	教授ストラテジー論	金4	久米 弘	・レポート：XIOへの回答提出 ・発表：XIOへの回答提出 ・授業への貢献度：XIOへの回答提出
47	まちづくり実践論演習	金4	田北 雅裕	出席（10%）、授業への貢献度（20%）、企画提案・プレゼンテーション（50%）、レポート（20%）の割合で成績評価します。 ・回以上欠席した場合は、欠格となります。
48	教育情報工学	金5	久米 弘	・小テスト：XIOへの回答提出 ・レポート：XIOへの回答提出 ・授業への貢献度：XIOへの回答提出 ・作品：XIOへの回答提出
49	国際教育文化コース特講Ⅲ	金5	孫 美幸	・最終課題レポート ・プレゼンテーション ・毎回の発表や議論、積極的な参加 ・毎回の授業への出席は単位取得の前提である。